

河川浄化に地域の力生かす

大淀川環境大学

河川の環境浄化などに取り組む人材を養成する大淀川環境大学シンポジウムが2月15日、南九州大学都城キャンパスで開催されました。河川環境活動に取り組み市民グループの事例発表や、宮崎河川国道事務所の浦山洋一副所長による講演、パネルディスカッションが行われ、約120人の受講者らは、河川環境への理解を深めました。初めて受講した中西康博さん（山之口町山之口）は「多くの人たちが、河川浄化に地道に取り組んでいることを知り、感心しました」と話していました。



サッカーする楽しさ伝える

サッカークリニック

今年で7回目の春季キャンプを迎えたFC東京のサッカークリニックが2月15日、高城運動公園多目的広場で行われました。市内の少年団やクラブチームなど、小学5・6年生255人が参加。FC東京からはマッシモ・フィッカデンティ新監督をはじめ、選手やコーチら約50人が、子どもたちとのミニゲームを通して、サッカーの楽しさを伝えていました。プロ選手から見事にゴールを決めた東大夢くん（乙房小5年）は「プロの技術やボールの運び方が参考になりました」と汗を流していました。



滑稽なやりとりで大笑い

春日神社へブどん

五穀豊穡を祈願する市指定無形民俗文化財の「ブブどん」が2月16日、高木町の春日神社で奉納されました。親方と下男役にふんじた保存会の会員らが、田んぼに見立てた境内で、しつこい製の小型の牛を引いた田起しや、種まきの模様などを好演。見物客らは、演じ手の滑稽なやりとりで大笑いしながら、今年の豊作を祈願していました。下男役を務めた野崎勝美さんは「天候にも恵まれ、会場には笑顔がいっぱい。豊作間違いなしですね」と神事の成功に手応えを感じていました。



まちのいいところ再発見！

ふれあいウォーキングin祝吉

地域の活性化と健康増進を目的にふれあい健康ウォーキングin祝吉が2月16日、沖水川河川敷などを歩く約6キロのコースで行われました。祝吉地区まちづくり協議会が主催する同イベントに約270人が参加。今年は、ウォーキングに加えて宝探しも行われ、参加した子どもたちはくじを見つけると歓声を上げていました。家族で参加した向井春菜さん（郡元一丁目）は「普段は歩いてのんびりと景色を見ることがないので、会話も弾みました」と家族とのコミュニケーションを楽しんでいました。



湧き上がる白雲のように育て みやざき学園協定書調印式

2月18日、市役所で県立みやざき学園における学校教育実施に関する協定書と覚書の調印式が行われました。みやざき学園は、県内唯一の児童自立支援施設。児童福祉法の改正で同施設入所児童の就学が義務化され、県と市が協議を重ね、今回、開設する運びとなりました。小・中学校名の「白雲」は「湧き上がる白雲のように未来に向かって育ってほしい」との期待が込められています。池田市長は「県と市が連携し、子どもたちによりよい教育を提供していきたい」と話していました。



最先端のロボット技術に子どもらの歓声 ASIMO特別授業

国内自動車メーカーが開発した人型2足歩行ロボットASIMO（アシモ）の公開授業が2月26日、志和池小学校で開催されました。元々は、東日本大震災で被災した地域の子どもたちを元気づけたいとの思いで、同メーカーの有志が始めた取り組み。児童らは、ダンスを踊るアシモを見学したり、アシモをつくるきっかけとなった技術者の思いを聞いたりして、最先端のロボット技術に触れていました。川口聖太くん（6年）は「人と同じスムーズな動きができてすごい」と驚いていました。



ジオサイトの理解深まる 霧島ジオパークウォークツアーin関之尾

世界ジオパーク認定へ向けて霧島ジオパークをもっと知ってもらおうと3月2日、関之尾滝周辺で霧島ジオパークウォークツアーin関之尾が開催されました。5歳から80歳までの39人が参加。参加者らは、鹿児島大学井村隆介准教授の解説を受け、滝の成り立ちや、地層から推測される噴火の歴史などについて理解を深めました。ジオサイトでもある関之尾滝について、同教授は「見慣れているこの風景は、巨大噴火がもたらしたものだということも知ってほしい」と話していました。



本番に向けて最後の特訓 子ども人形浄瑠璃

国の重要無形民俗文化財に指定されている山之口麓文弥節人形浄瑠璃の定期公演（3月16日）に向けて、麓小学校児童が3月8日、人形の館で最後の練習に励みました。人形、語り、三味線が一体となり物語を演ずる人形浄瑠璃。同小学校の5・6年生20人は、地元保存会会員らの細やかな指導のもと、昨年6月から伝承活動の一環として練習に取り組んできました。綿屋茂磯さん（6年）は「人形は重くて練るのが大変。でも、夢中になれるのが楽しい」と本番に向けて自信を深めていました。





情熱を忘れず、夢かなえる 文部科学大臣優秀教員表彰受賞

五十市中学校
女子バスケットボール部顧問

横山 祥子 さん



優れた指導力で成果を上げた教職員を表彰する、文部科学大臣優秀教員表彰を受賞したのが、五十市中学校女子バスケットボール部顧問の横山祥子さん（年見町・43歳）です。

横山さんは、平成17年に同校に赴任。指導する同部は、県大会や九州大会などで上位入賞の成績を収め、平成24年に出場した全国中学校体育大会では、県勢初となる優勝を果たしました。

横山さんが、バスケットボールと出会ったのは、小学校6年生の時。当時通っていた小林市内の小学校で、スポーツ好きの両親の勧めもあってミニバスケットボール部に入部し、その後、中学、高校、大学と練習に汗を流しました。「選手としては、身長が低い。自分の弱点を長所に変えるため、自主練習にも人一倍打ちこみました」と、学生時代を振り返ります。

中学時代の恩師に大きく影響を受け、2年生の時には、体育教師への道を志した横山さん。「情熱的で涙もろい、いつも生徒に寄り添ってくれる先生でした」と、恩師との思い出を話します。

「学生時代に学んだことを生かし、子どもたちの人間力や可能性を伸ばしたい」と、子どもたちの

体格やプレースタイルに合った練習を取り入れています。

現在、小林中で指導したときの生徒が、五十市中まで指導に来るなど、横山さんのバスケットボールに掛ける思いに共感する教え子たちの協力もあり、各種大会では上位入賞の成績を残しています。

「今回の受賞は、これまで関わってきた教え子たちと、その保護者の協力のおかげ」と話す横山さん。「情熱がなくなったら、生徒の前に立つたらいけないと思いい、気持ち奮い立たせています。これからも、生徒に寄り添い、指導者としてより一層学び、再び日本一への夢を追い掛けたい」とさらなる目標へ向い、まい進します。





今回は、高原町の玄関口「高原駅」を紹介します。

■高原町観光協会

高原駅には、高原町観光協会(☎0984-42-4560)があり、観光の窓口となっています。

昨年から観光協会には、地域おこし協力隊員として石田大樹さん(大阪府出身)と村上道人さん(福岡県出身)の2人が配属されています。地域おこし協力隊とは、都会出身の若者に地域に住んでもらい、高原町内の地域活性化を推進してもらおう試みです。

石田さんは、制作会社で働いた経験を生かし、高原町の観光PRや各種企画の立案を担当しています。一方の村上さんは、ウエートリフティングの現役の選手。自慢の体力を生かして、町内を駆け回り、各種イベントの準備などをしています。



■駅サイティング市高原駅

高原町観光協会の隣には駅サイティング市高原駅があります。平成22年に口蹄疫からの復興を掲げてオープンし、高原町の物産を中心に販売しています。

ここでの楽しみは、店長の田上修子さんが入れるおいしいお茶です。いろいろな人が立ち寄り、お茶を飲みながら田上さんとの会話を楽しんでいます。

また、毎月第2水曜日には活魚と韓国キムチのお店が物販に来ます。新鮮でおいしい魚と本場のキムチが人気です。



次の停車駅は都城市です。

◎問い合わせ

高原町まちづくり推進課

☎0984-42-2115

※環霧島圏域のイベント情報を、市ホームページで紹介しています。



盆地生まれの 元気 をいただきます



ニンジン(人参)は、緑黄色野菜の中でも、ベータカロテンを多く含みます。免疫力を高め、粘膜を強くしたりするため、がん予防や風邪、インフルエンザを予防します。



ワン! ポイント ニンジンを荒くすりおろすと、食感を楽しめるドレッシングになります。

毎月19日は、「食育の日」
～家族そろって食事を楽しみましょう～

ニンジンドレッシング

※大きじ1 31kcal、塩分0.77g

●材料

ニンジン…中1本(100g) 玉ネギ…中1個(130g)
砂糖…90g 薄口しょうゆ…200cc サラダ油…100cc
A [酢…150cc 白ごま…20g ニンニク…1かけ(10g)]
塩…小さじ1/6(1g)

●下準備

ニンジン…皮をむき、いちょう切りにする
玉ネギ…皮を取り、ざく切りにする
ニンニク…皮を取り、1/4個に切る
白ごま…からいりしてから、ミキサーにかける

●作り方

①全ての材料とAをミキサーにかける
②旬の野菜を器に盛り、①のドレッシングをかける
※冷蔵庫で保存し、早めに食べましょう



ミキサーがない場合は、すりおろし器やすり鉢を代用することができます。また、調味料の量を調整して、甘くしたり酸っぱくしたり好みの味が楽しめます。

◎問い合わせ 健康課 ☎23-2765